

平成 25 年第 15 回県教育委員会会議 報 告 事 項 (4)

生涯学習振興課

1 報 告 事 項

平成 25 年度沖縄県「文字・活字文化の日」記念フォーラム

2 事 項 の 説 明

- (1) 趣旨：活字その他の文字を用いて表現されたものを読み、及び書くことを中心にして行われる活動の推進に資するため、沖縄県「文字・活字文化の日」記念フォーラムを開催し、県民の間に広く読書活動についての関心と理解を深める。
- (2) 主催：沖縄県教育委員会
- (3) 対象：公立図書館・公民館図書室・児童館等の職員及び社会教育関係者、学校関係者読書活動団体、学校・地域における読み聞かせボランティア、子どもの読書活動に関心のある方
- (4) 期日：平成 25 年 10 月 29 日（火） 14：00～16：45
- (5) 場所：沖縄県庁（4 階講堂）
- (6) 研修内容

読書活動優秀実践表彰（教育長表彰）

小学校 糸満市立真壁小学校 金武町立嘉芸小学校 県立南部工業高校

図書館 北谷町立図書館

団 体 図書館読み聞かせボランティア「ゆいゆい」（沖縄市）

沖縄おはなしの会「でんでん虫」（ちんなん）（那覇市）

読み聞かせサークル「がじゅまる会」（浦添市沢岬小学校）

個 人 浜川 久恵（那覇市立真和志中学校 国語科教諭）

比嘉 久美子（元沖縄市立宮里中学校 図書館司書）

講 演

テーマ「言葉で育む豊かな心・郷土の心に誇りを」

（しまくとぅば県民運動にあわせて）

講師：上間 信久（琉球朝日放送 代表取締役 社長）

読書活動優秀実践校（平成 25 年度文部科学大臣表彰）実践発表

（那覇市立城北小学校）

當山しのぶ（校長）、濱川美由紀（読み聞かせの会代表）、北島小椰（小 6）

【実施結果】

(1) 参加人数 145 名

(2) アンケートより

- ・琉球いろは歌の勉強をしてみたくなった。後輩にも沖縄口を伝えていきたい。
- ・沖縄の先人のすごさを再認識した。子ども達にも伝えられる様に勉強したい。
- ・ウチナー口の奥深さは、知れば知るほど興味を引かれていき、上間氏みたいに詳しい方になりたいと思った。
- ・名護親方についてもっと勉強したくなった。
- ・1715 年に身分否定、男女平等、人間主義を持つ人がいてたいへん驚いた。
- ・「ナンクルナイサ」の意味を正しく伝えていきたい。
- ・ビブリオバトルという事業は効果的な手法だと思った。
- ・学習センターとしての学校図書館（年間指導計画に読書活動をリンクさせる）の機能を高める工夫がよかった。